

タイトル『プラチナデータ』

著者：東野圭吾

出版社：株式会社エムエフ冬舎

登録された国民の遺伝子情報から
犯人を特定する「DNA捜査システム」の主任分析
員の神楽龍平は新たにおこった事件の犯
人をシステムで探していたが、結果は未登録のもの
だった。

たいていそんなときDNA捜査システムの開発者である
植村早樹が殺害された。神楽はシステムを使って
犯人と思われる人物のDNAを照合するが、コンピュー
タが示したのは神楽本人だった。

鍵をにぎるのは、

早樹が完成させた
もう一つのプログラム

犯行時刻に目覚めていた
2つ目の人物の存在

果たして神楽が辿り着く真相とは!?

投稿日 2017年 1月 5日

ペンネーム

M

年齢

14

